

【解答のポイント】

問1

- ① 基礎知識：選んだ建築家やデザイナーの特徴と、代表作について正しく説明できているか。
- ② 感性とデザイン：作者の考えが、実際の作品の形や素材にどう表れているか、生活者の視点で分析できているか
- ③ 伝える力と意見：その作品の価値を、「他者が理解できるように」自分の言葉で論理的に説明できているか。
- ④ 文化的視点：自国（または他国）の文化やデザイン思想と、選んだ作者の考え方を比較・関連付けて考察できているか。

問2

- ① 課題の理解：環境を守ることと、経済を発展させることの両立という難しいテーマを正しく理解し、自分の考えをまとめられているか。
- ② 具体的なアイデア（デザイン力）：課題を解決するための「具体的な形や仕組み」を、自分なりの自由な発想（デザイン力）で提案できているか。
- ③ 生活への視点：その提案が、人々の「暮らし」や「心地よさ」にどのようなつながるか、生活者の視点（感性）を大切にして説明できているか。
- ④ 文章構成：高度な日本語表現だけでなく、結論・理由・具体例という論理的な文章構成（ロジック）で他者を説得できているか。

【出題意図】

問1

本専攻は、生活を豊かにするデザインを大切にしています。この問題では、志願者が建築やデザインにどれほどの関心を持ち、その価値をどう考えているかを確認します。単なる知識だけでなく、作者の考え（感性）が、実際の形（デザイン）にどうつながっているかを読み解く力を評価します。新しい生活文化をつくるために必要な「デザインの基礎力」があるかを判断することが目的です。

問2

生活の質を追究してきた本専攻は、デザインで社会を良くすることを目指しています。本問題では、環境と経済という現代の大きな課題に対し、志願者がどのようなデザインの力で応えるかを確認します。単なる技術的な解決策だけでなく、人々の感性に響き、より良い生活文化をつくるための柔軟な発想力があるかを評価します。未来の都市や空間を構想する基礎的な思考力を判断することが目的です。